

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAサポートキッズ天王寺		
○保護者評価実施期間	2025年 11 月 1日		2025年 11 月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 11 月 1日		2025年 11 月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11 月 1日		2025年 11 月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや訪問先の課題を分析した上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)を作成している。	保育所等訪問支援の利用時は、利用児童の学校等での様子を訪問先の先生と密に共有するようにしている。また、支援内容や利用児童の課題について共通理解していただけるように説明をしている。	引き続き、学校等で丁寧かつ細やかにコミュニケーションを取りながら、さまざまな意見をかけ合わせてより良い支援計画、実施ができるようにしていきます。
2	多機能型(児童発達支援、放課後等デイサービス)であるので保育所等訪問支援において、園や学校等の先生方と通所時の様子を共有することが出来る。	学校等訪問時だけでなく、事業所での様子や状況も踏まえ長期的に支援が出来るようにしています。	園、学校の先生や他事業所と連携し保護者と情報共有を行いながらより良い支援に繋がっていきます。
3	専門職種が訪問に行くことで、色々な角度から利用児童の園や学校での様子を見たらうえて支援を提供することが出来る。	専門職種が情報を提供することで、発育や発達、心理等の各専門性の意見を参考にして支援内容の見直しを行う事が出来る。	事業所内のミーティングで、各職員と情報共有を行いながらより良い支援の繋がっていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)、家族等も参加できる研修会等の情報提供の機会等が少なく家族への支援が弱いと感じるところがあります。	ペアトレに関しては専門性が高くなおかつ継続しなければならぬので人員と時間の確保が難しい。	外部で行われる研修会の情報提供や通所時には個別で保護者に支援内容の助言を行っているが、それだけでなく全体でも課題について意見を交換する機会を持つように検討していきます。
2	父母の会の活動の支援や保護者会の開催等、保護者同士の交流の機会が少なく、家族への支援が弱いと感じるところがあります。	保護者の方との日程の調整が難しく全体での会が開催しにくい。	全体での集まりは難しいので小人数の集まりやオンラインを活用することも検討していきます。
3			